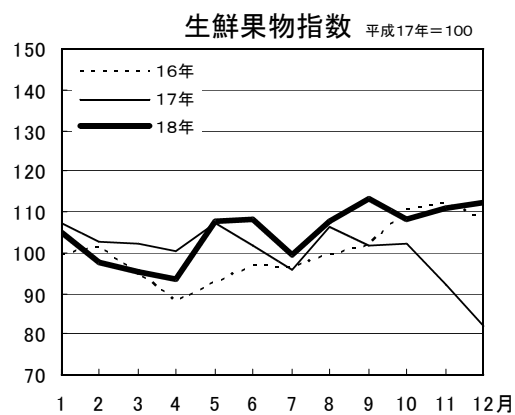
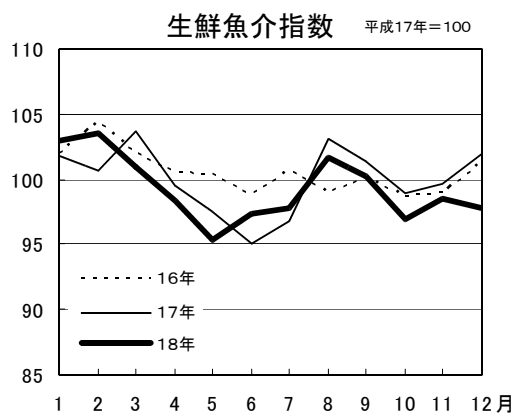
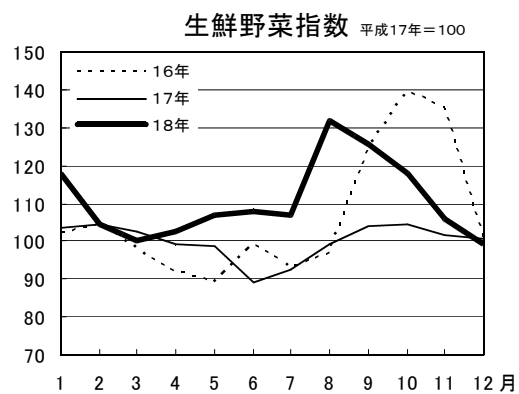
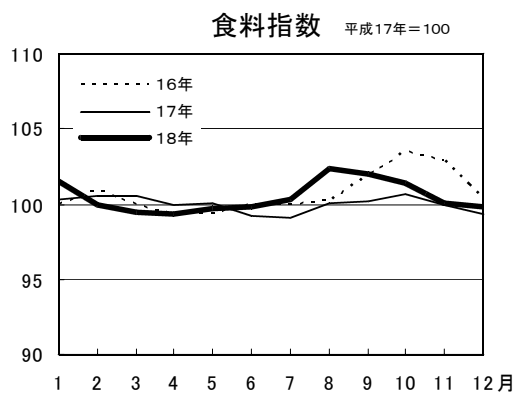


費目別指数の動き

(1) 食料

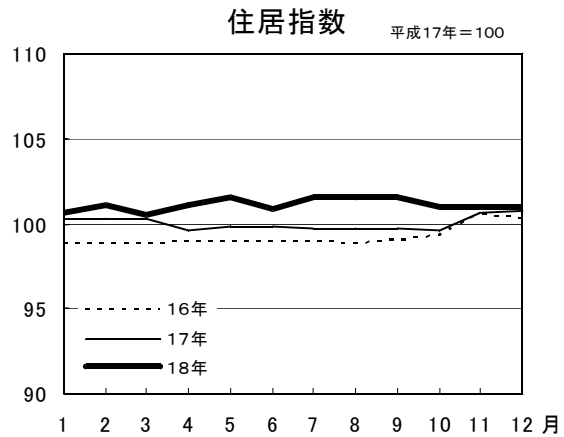
年平均指数は100.5となり、前年に比べ0.5%の上昇となった。生鮮食品についてみると、生鮮魚介が0.7%の下落、生鮮野菜が10.6%の上昇、生鮮果物が4.9%の上昇となり、生鮮食品全体では5.2%の上昇となった。

生鮮食品以外では、肉類は1.7%の上昇、調理食品は1.9%の上昇、飲料は0.1%の上昇、外食は1.1%の上昇となった。一方、穀類は3.7%の下落、乳卵類は2.6%の下落、油脂・調味料は2.0%の下落、菓子類は2.3%の下落、酒類は1.9%の下落となった。



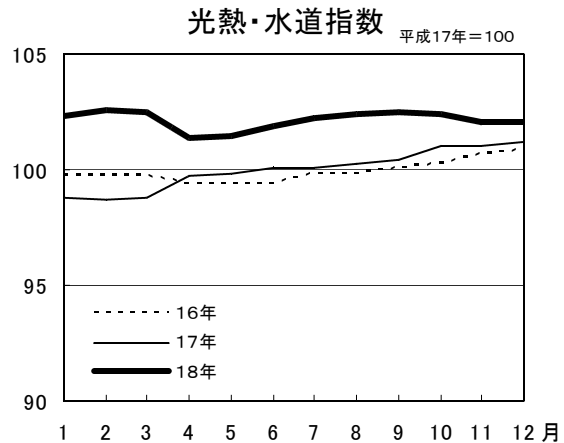
(2)住 居

年平均指数は101.1となり、前年に比べ1.1%の上昇となった。内訳をみると、家賃は1.2%の上昇、設備修繕・維持は0.6%の上昇と、いずれも上昇となった。



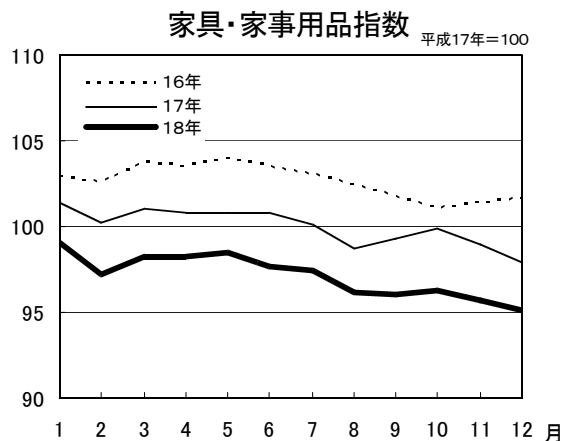
(3)光熱・水道

年平均指数は102.2となり、前年に比べ2.2%の上昇となった。内訳をみると、ガス代は3.5%の上昇、他の光熱は22.4%の上昇、上下水道料は0.8%の上昇となった。一方、電気代は0.2%の下落となった。



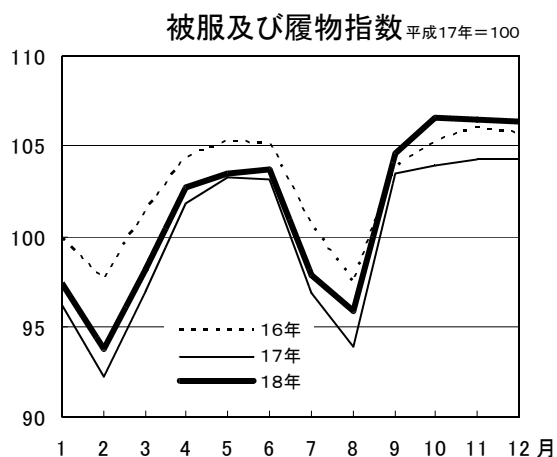
(4)家具・家事用品

年平均指数は97.1となり、前年に比べ2.9%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は8.1%の下落、家事雑貨は0.6%の下落、家事用消耗品は1.5%の下落となった。一方、室内装飾品は1.5%の上昇、寝具類は0.6%の上昇となった。なお、家事サービスは前年と同水準となった。



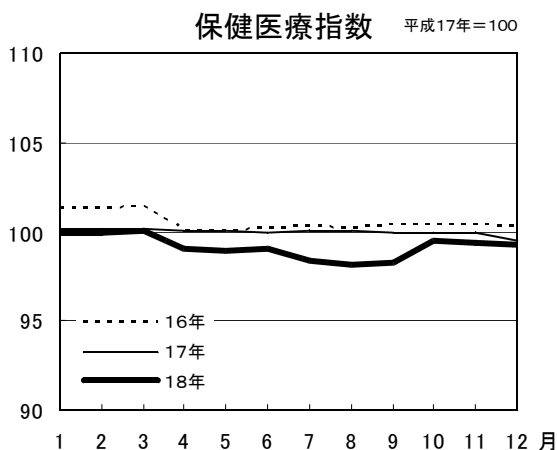
(5) 被服及び履物

年平均指数は101.4となり、前年に比べ1.4%の上昇となった。内訳をみると、衣料は0.7%の上昇、シャツ・セーター・下着類は1.7%の上昇、履物類は0.6%の上昇、他の被服類は4.6%の上昇、被服関連サービスは3.3%の上昇と、いずれも上昇となった。



(6) 保健医療

年平均指数は99.2となり、前年に比べ0.8%の下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は1.4%の下落、保健医療用品・器具は0.6%の下落、保健医療サービスは0.7%の下落と、いずれも下落となった。



(7) 交通・通信

年平均指数は100.1となり、前年に比べ0.1%の上昇となった。内訳をみると、自動車等関係費は2.7%の上昇となった。一方、交通は0.8%の下落、通信は3.8%の下落となった。

